

幼稚園独自の評価

下記の項目の評価をしてください。4段階評価でお願いします。

4 ⇒ 充分達成している（80%以上）

3 ⇒ 概ね達成している（60%以上80%未満）

2 ⇒ もう少しである（40%以上60%未満） 1 ⇒ 改善が必要である（40%未満）

番号	評価の項目	R1	R2	増減	令和2年度の評価(%)				今後の課題	関係者評価委員によるご助言
		平均	平均		4	3	2	1		
1 ①	(保育指導) 個に応じた指導を行い子どものよさや可能性を引き出したか。	3.71	3.57	↓	57%	43%			学年間の引き継ぎを丁寧に行い、日々の保育や個人面談等で子ども理解に努め、援助に生かす。	・子どもの個性を生かしたのびのびとした教育を推進している。
1 ②	(特別支援教育) 特別支援教育の充実につながる組織体制を整備するとともに、特別な支援を要する子どもの個別の指導計画を作成し、個に応じた具体的な支援や保護者との連携を図ったか。	3.71	4.0	↑	100%				支援を要する子どもや個に応じた具体的な支援について職員で共通理解を図り、実践していく。カウンセリングの充実や、専門機関との連携を図り、保護者と共通理解のもと、支援を進めていく。	・特性とか発達のでこぼこなどという言葉に敏感な保護者が多い中で推進されていることは素晴らしい。
2	(生活指導) 常時指導を中心に幼児の心の安定を図る取組ができたか。	3.85	3.43	↓	43%	57%			子どもが安定した気持ちで過ごすための教師の援助、環境の構成について共通理解し、実践する。	・ほとんどの子どもが楽しそうに活動する様子が参観で見られた。
3 ①	(就学指導) 個人面談や就学相談を実施し、保護者との連携を図ったか。	3.85	4.0	↑	100%				個人面談で、子どもの実態や育ち、就学等についての話し合いを行い、連携を図る。	・保護者との信頼関係が構築されていることが伺える。
3 ②	(幼小中連携) 一貫教育をスムーズに進めるための幼小連絡会や幼小実務者会を実施したか。	4.0	3.43	↓	57%	29%	14%		新型コロナウイルス感染症の影響で実施できない会もあった。円滑な接続・小学校との連携のため、計画的な実施を図りたい。	・感染症拡大防止の観点から仕方ない面がある。
3 ③	(幼小中連携) 小・中学校との交流活動やコミュニケーションスキル活動を計画的に実施したか。	3.85	2.86	↓	14%	57%	29%		新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかった交流活動があった。スキル活動は、計画通り実施した。	・感染症拡大防止の観点から仕方ない面がある。
4	(保育指導) 地域や自然、伝統行事等の教育資源の活用を図ったか。	3.71	2.43	↓		43%	57%		伝統行事の中には、食に関するものもあり、活動が難しいものもある。ビオトープの活用を図りたい。	・ビオトープは気付きを大切に活動ができるのでは。 ・代替となるものをどう考えたかで評価するとよい。
5 ①	(生活指導) 基本的な生活習慣の大切さについて保護者に説明を行ったか。	3.71	3.57	↓	57%	43%			早寝早起きの重要性や登降園時刻を守ることの大切さ等を日常的・継続的に保護者に伝えていく。	・保護者との話し合いも制限があったのではないか。
5 ②	(大学との連携) 大学と附属学校園との連携を深めるための各種委員会は、学校運営を改善していくための機会になっているか。	3.57	3.14	↓	71%	29%			各種委員会の内容を伝達し、職員間で共通理解し、学校運営を改善していくことにつなげていきたい。	・コロナの影響もあったと推察する。
5 ③	(大学との連携) 実習運営委員会との連携を図り、教育実習等を計画的に実施することができ	3.85	3.43	↓	43%	57%			新型コロナウイルス感染症の影響で、5、6月の実習が実施できなかった。大学と連携し、可能な限り実	

